

エヤウ記

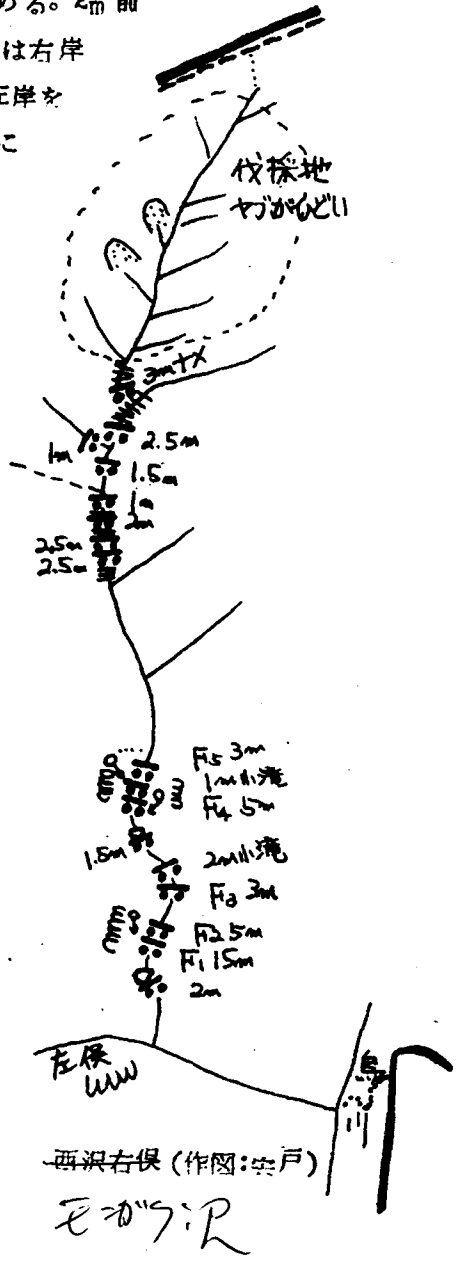
西沢右俣(下降)

1981年7月19日

L 宍戸幸務・佐藤邦宏・白石光子

下りはじめて10分程するとヤブがひどくなってくる。伐採あと地である。背丈程のやぶが前准をさまたげる。1時間程悪戦苦闘して、やっとぬけ出した。すぐに二俣。小休止してやぶこぎの疲れの回復につとめる。2m前後の小滝が続く。少し間をおいてF5 3m。ここは右岸をアップザイレンにて降りる。すぐ下のF4は左岸をクライミングダウン。初心者である白石・佐藤にはアップザイレンにて下降させる。少し下って、兩岸がガケになったところにF2, F1がある。ここが地図上の滝の記号がある所だ。F2は右岸をアップザイレン。F1はクライミングダウンできそうに思ったが、同じく左岸をアップザイレンにて降りる。この2つの滝を一緒に捲く踏跡が左岸についているので、これを使う方が簡単である。前方が明るくなると本流。そして、その先5分程で鳥川に出る。林道に登る道があったので、これを使って上に出た。(記・宍戸幸務)

下降開始(11:45)——鳥川(15:00)



エヤウ記

横川一ノ沢(仮称)

1981年7月19日

L 西和文・枝並実好・阿部和子

鳥川林道ゲートに車を置いて出発。1時間半ほどで横川出合。きれいな水の流れた。10分もしないうちに右岸から支流が入る。今日の予定はこの支流(横川一ノ沢と仮称する)の遡行だ。本流の方は何となく滝がありそうなるふんいきが出てきたというのに、小さな支流に入らねばならないとは、何となく残念で